

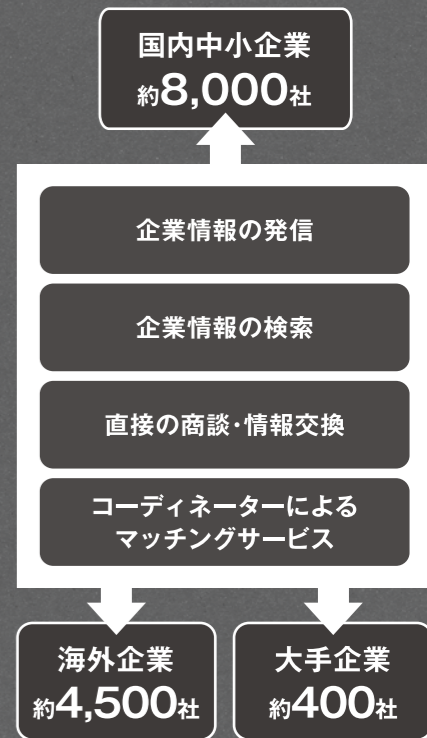
中小企業を応援  
特別対談

# 中小企業の販路開拓を支援する J-GoodTech

ジェグテック

## ジェグテックとは？

国(経済産業省)の機関である独立行政法人  
中小企業基盤整備機構が運営する、BtoB(企業間取引)向けビジネスマッチングシステム  
です。日本の中小企業と国内大手企業、海外  
企業、中小企業同士をつないでいます。



現在、中小企業の皆さまからは、どのような声が上がっていますか。

野沢：中小企業が抱える課題は、時代とともに変わってきていますが、昨今、人口減少に伴う事業承継問題、国内市場の縮小、さらに生産労働人口の減少による生産性の向上などの問題がクローズアップされています。私たちは、日本の礎となる中小企業を支援する中で、BtoBの企業間マッチングサイトを立ち上げ、中小企業同士、中小企業と大手企業・海外企業を結びネットワークを構築するようなシステムをつくりました。それが、現在、打ち出している目玉支援メニューであるジェグテック(JGT)です。

池田：人材確保や販路開拓支援やマッチングに対する声は、私たちにも届いています。私たちは、「ものづくり連携倶楽部ひろしま」という企業交流会や、「IoT導入研究会」を開催し、中小企業の活動をバックアップしています。ただ、幅広く企業間をつなぐには物理的、時間的な高いハードルがあります。そこを解消してくれるのがJGT。私たちも販路開拓希望者にJGTに関する説明を行っています。JGTは具体的にどのように利用されていますか。

野沢：各企業からのニーズ情報の受信・発信が気軽に行えるのが、大きな特徴です。例えば、大手企業からの「こんな部品が作れないか」という要請に応え、商談までつながっている実績も増えております。また、各中小企業の強みが明確になるので、「この部品はこの社に任せた方がいい」といったように、生産性の向上にもつながります。全国にJGT専任コーディネーターが約80人いますので、マッチング後のフォロー体制も整えております。

池田：これからはJGTの利用により、より公平に企業が判断される時代になるでしょう。海外とのつながりも強化され、グローバルに中小企業も活躍する流れが生まれつつあります。今後どのような利用が期待されていますか。

野沢：JGTでは、ビジネスパートナーを探することも可能であり、異業種間の連携も期待できます。登録企業数も増えており、今後の産業構造の変化に対応し新規参入の足がかりツールとしてもご利用いただければと考えています。

池田：中小企業の抱える問題を解決するきっかけとしては、JGTが最適です。ここから始まり、フェーストゥフェースで経営者同士が向かい合って話し合うことで、事業化の成功率を高めていけるはずですよ。

企業情報の受信・発信に、  
ジェグテックをぜひご利用ください。

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 中国本部  
経営支援部長

野沢 俊幸氏



ジェグテックは中小企業の  
問題解決のきっかけになります。

広島県中小企業団体中央会  
連携支援部 部長

池田 耕治氏



広告

独立行政法人中小企業基盤整備機構 中国本部  
〒730-0013 広島市中区八丁堀5番7号 広島K Sビル3階

☎082-502-6555

Webで検索 ▶ 中小機構中国 検索  
トップページの「J-GoodTech」をクリック!

広島県中小企業団体中央会  
〒730-0011 広島市中区基町5番44号 広島商工会議所ビル6階

☎082-228-0926

Webで検索 ▶ 広島県中央会 検索